

2019年10月12日～2019年10月18日

2019年10月23日

### 先週の回顧

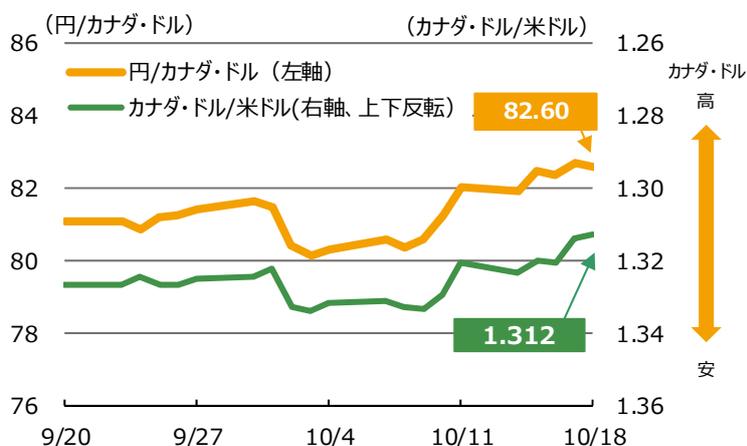
カナダ・ドルは、対円で上昇しました。また、カナダ5年国債利回りも上昇しました。

カナダの金利は、英国とEU（欧州連合）で離脱合意に近づいたとの見方が広がり、投資家のリスク選好姿勢が強まったことを背景に週前半は上昇しました。週後半は、FRB（米国連邦準備制度理事会）高官が追加利下げの可能性について言及し、米金利が低下したため、上昇幅を縮めました。

経済指標では、CPI（消費者物価指数）が発表になっており、市場予想を下回る結果になりました。

### カナダ・ドル 為替推移

(2019年9月20日～2019年10月18日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

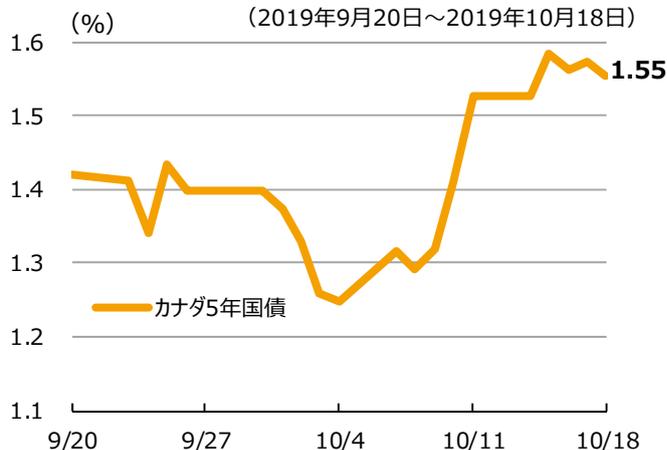
### 今週の見通し

今週の経済指標ですが、カナダでは小売売上高の発表があり、市場予想を大きく下回る結果になりました。

カナダでは21日（現地）に下院総選挙が実施され、現与党の自由党が第一党となったものの、単独では議席の過半数は獲得出来ませんでした。ただ、同じ中道左派の新民主党と協力して政策を進めることが予想され、政策運営が滞る可能性は低いと考えられます。トルドー首相が公約として掲げている歳出の拡大、中間所得者への減税などが実行されれば、カナダの金利、通貨の上昇圧力につながるものが予想されます。

### カナダ 金利推移

(2019年9月20日～2019年10月18日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

#### 当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。